

高等学校 令和8年度（3学年用）教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 1組～ 6組
 使用教科書：（最新政治・経済）
 教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】

国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

科目 政治・経済

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。 | 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。 | よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|---------|---|---|---|---|---|---|----------|
| | | | | | | | |
| 1 学期 | 【知識及び技能】 ・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 | ・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 政治と国家、政府が何であるかを理解している。 【思考・判断・表現】 政治とはどのような営みか、自身の身近な事例にも言及しながら考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民主権を担う公民としての自覚をもとに、民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | | | | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 【知識及び技能】 ・需要と供給により価格と生産量が変化を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報の非対称性によって生じる問題とその対応策について、2つの視点（情報をもつ側ととれない側）を踏まえながら協働的に考察・構想し、適切に表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 | ・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 ・生産・分配・消費、希少性、トレードオフ、機会費用など、経済の根本的な概念について理解している。 【思考・判断・表現】 ・資源の効率的な配分について、効率性と公平性の観点から多面的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。 ・資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | | | ○ | ○ | ○ | 5 | |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2 学期 | 【知識及び技能】 ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 | ・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 17 |
| | | | | ○ | ○ | ○ | 17 |
| 3 学期 | 【知識及び技能】 ・各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持続可能な国際社会づくりなどについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述させる。 | ・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 ・各課題に関連する知識（小学校および中学校で習得した概念などに関する知識や『公共』で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や、国際政治および国際経済の基本的な概念や理論など）を整理し、理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現のために、国際社会の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | | | | ○ | ○ | ○ | 合計 70 |